

滋賀県精神保健 福祉協会だより

第18号
SHIGA
精神保健福祉協会

2003.3.31

編集発行：滋賀県精神保健福祉協会
事務局：滋賀県精神保健福祉協会
〒525- 草津市笠山八丁目4番25号
0072 滋賀県立精神保健総合センター 1 気付
TEL/FAX 077(567) 5250

滋賀県精神保健福祉協会の活動に望むもの

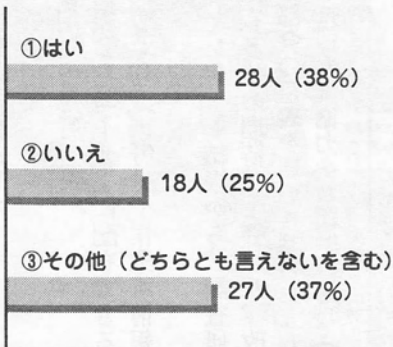
調査研究 部会報告

今回、調査研究部会では、「滋賀県精神保健福祉協会の活動に望むもの」というテーマで会員のニーズアンケートを実施しました。

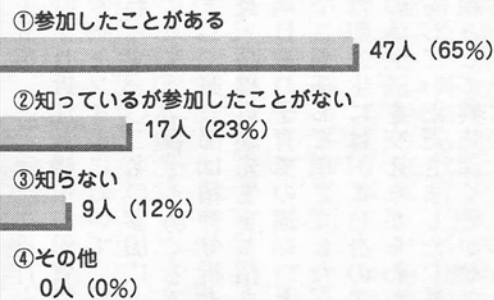
その結果がまとまり、去る三月六日に検討会を開き、会員の声を取り入れながら、今後の調査研究部会の方針について方向性が出ましたので報告します。なお、このアンケートにご協力いただきました七〇名の会員には感謝の意を表したいと思います。

各アンケート項目の結果、会員の意見、そして、この調査部会の意見をまとめてみました。

【問2】現在の協会活動に満足していますか？



【問1】協会の具体的な活動を知っていますか？



今回のアンケートでは、医療関係者や福祉関係者など身近な方が多く、従って、現在の協会活動に対しては甘い評価になっている。しかし、協会活動に「いいえ」と答えた方の中には厳しい意見が多い。たとえば、「協会の活動が見えにくい」、「機関誌が送られてくる以外、何も情報が入らず、会員になってもメリットがない」、「遠い存在のように感じて、直接響いてこない。活き活きしていない」、「形式ばかり重視されていて、心の通った催しが少ない」、「機関誌の内容を、もっと充実したものに」、「催し会場は南部に集中しないしてほしい」など。

③その他の意見の中には、「協会の維持、継続、みんなをまとめる事の大変さを思う」、「多くの会員は仕事を持っているので、活動には限界がある」、「時間がとれないので参加はできないが、機関誌は毎回読んでいます」、「当事者の社会参加と社会的自立に向けて、地域社会に対する啓発事業を推進すべきである」などがあつた。

【問4-①】 今後、取り組むべき活動や期待することは？

(回答者70名で複数回答)

- ①利用者の声により反映できるような活動
26人 (36%)
- ②精神保健福祉を巡るさまざまな情報提供
47人 (64%)
- ③サロンの的に皆が集まれる場づくり
14人 (19%)
- ④協会会員相互の連携や親睦を深める活動
18人 (25%)
- ⑤その他
3人 (4%)

【問3-①】 これまでで良かった活動は？

(回答者70名で複数回答)

- ①イベント開催
 - (a) 県民のつどい (一般県民対象の講演とシンポジウム) 45人 (60%)
 - (b) 障害者のつどい (当事者と地域の交流を図るイベント) 25人 (34%)
 - (c) 映画自主上映 (H13年3月の合同企画「17歳のカルテ」) 22人 (30%)
 - (d) その他 18人 (25%)
 - (e) その他 1人 (1%)
- ②研修・勉強会(権利擁護)、公開座談会(「協会構成団体の相互理解を深める」など) 10人 (14%)
- ③機関誌(協会だより)の発行 32人 (44%)
- ④地域の活動の情報提供 21人 (29%)
- ⑤精神保健福祉に関する調査研究および資料作成配布活動 12人 (16%)
- ⑥ポスター、カレンダー等の資料の作成と配布 8人 (11%)
- ⑦その他 0人 (0%)

「問3-②」以上の内、特に印象に残った企画があればご記入ください。
「五感に訴えてくる映画は分かりやすい」

【問4-②】 具体的に取り組むべきと思われる活動として次のような意見が寄せられた。

- 「当事者の方の生活をシミュレーション的に描いて、生活上のしづらさへの対処法や、精神保健福祉資源の情報提供ができたなら、当事者や援助者にとっても具体的なものとして、さらに理解が深まるのでは」、「当事者のグループ、施設(作業所や支援センターなど)のユニークな活動や取り組みの紹介をしてほしい」、「地域住民に理解をひろめていくために、民生委員さん、保健推進委員さん、市町村社協の役員さん、ホームヘルパーさん、ボランティアさんなどとの交流事業を考えていただきたい」、「県内の作業所や支援センターなどの紹介をしてほしい」など。
- なお、平成十四年二月に、中主町内で行なわれた精神保健福祉についてのミニ勉強会には、多くの方に参加していただき、参加者の方から具体的かつ切実な質問が多くだされ、大変有意義な会であった。今後は、県内で、年々一〜二回のミニ勉強会を開くのも役に立つと言う委員の声もありました。
- 今後、調査研究部会としては、活動方針として次の三点を考えています。
- (1) 対象をしぼり、地域・民生委員・ユーザーに役立つものにしていく(交流事業)
- (2) 地域でミニ勉強会を開いて身近なものにしていく。
- (3) イベント(映画、講演会など)を開催することによって、組織づくりをはかる。

また、情報の提供として、

- ①勉強会活動
- ②機関誌の発行
- ③家族会やユーザーに配布できる資料づくり(市町村や作業所情報など)

今回のアンケート結果から、調査研究部会にも多くの期待がよせられ、改めてこの部会の意義を痛感させられました。今後も皆様の御協力をお願いいたします。

平成十四年度

「心の健康づくりを

考える県民のつどい」報告

平成十五年(二〇〇三)三月十六日午後一時より近江八幡市の滋賀県立男女共同参画センターにおいて、悪天候にも関わらず一〇二名の参加により開催されました。「子育てをめぐる不安」と題しまして第一部は精神分析セミナー・所長・高橋哲朗先生をお招き致しまして「日米の子育ての違い」というテーマでご講演して頂きました。

高橋哲朗先生には、ご自身のアメリカ生活の体験談を交えながらわかりやすく話をしていただきました。私は一児の父親として興味深く聴かせてもらうことが出来ました。

私自身子育てに対して「自分の育て方は正しいのか?」「5ヶ月だったらこの位だろうか?」など色々不安を持っており、やはり他の子供と比較してしまいます。そこで印象的だったのは、

講演
演題
「日米の子育ての違い」
滋賀県立センター 高橋哲朗先生



自分の知っている育て方の押しつけは良くないということ、子供は自分の望み通りには育たず、子供には子供の変化があるということです。「子育てとは子供も大人も常に環境の中で変化しており、育児は変化の連鎖である。」という言葉はなるほどという反面、この先大丈夫だろうか不安を感じました。子供ばかりに目を向けるのではなく、自分自身というものに目を向け、特に自分を客観的に分析することが不安を軽減させることだと学びました。また、その不安を表面的に捕らえるのではなく、どこにその不安の原因が存在するかを認識する必要があることを学びました。

今回、高橋哲朗先生の講演を聴かせてもらい、今後の私自身の子育てに対し、少し自信が持てた様な気がします。とても貴重な時間となりました。

(日本精神科看護技術協会 滋賀県支部 鳥崎淳一)

第二部は「子育てをめぐる不安」をテーマにシンポジウムを行いました。助産士の淵元純子先生からは妊娠時か

ら乳幼児期における、様々な不安を紹介していただきました。臨床心理士の高橋啓子先生には学童期から思春期の子ども心の揺れと付き合う親の葛藤を示していただきました。弁護士甲津貴央先生からは子育てへの社会的支援の必要性を指摘していただきました。少子化社会を迎えた今日では、子どもを育て方によって親の評価が定められる傾向がありますし、育て方の間違い(虐待)への不安は高まってきています。子どもを育てることは一時も気を抜くことの出来ない難事業となっています。にもかかわらず子育ては母親に任せられたままということが多くあります。



平成十四年度 滋賀県精神障害者を 理解するつどい

参加して 「こころの健康フェア'03」に



平成十五年三月二十二日(土) 十時三〇分から十五時三〇分まで野洲町にあります「コミュニケーションセンター」で「こころの健康フェア'03」が開催されました。精神保健福祉関係者の多い集まりではなく、広く一般の方に参加してもらいたいという思いからイベント内容を工夫され、野洲町の近隣者だけでなく、広く参加いただき、約六〇〇名の参加でした。「ビューティフル・マインド」のビデオ上映、フリーマーケットや野洲小学校プラスチックバンドと女王子ども合唱団、フォークグループ「紙ひこうき」のコンサート、精

神障害者社会復帰施設などが焼きそばやフランクフルトなどの模擬店とステージ発表、紙面による展示発表があり、大盛況でした。準備は大変そうでしたが、多くの方に参加してもらったことで精神障害者を身近に感じてもらえたようです。また、昼からは高知県初の通所授産施設「さんかく広場」の施設長 武田廣一さんに「誰もが安心して暮らせる街づくりをめざして」というテーマで講演がありました。講演にも地域の民生委員さんや健康推進員さんを含み、約二二〇名が参加され、どの会場も椅子が足りないほど盛況でした。

(精神保健総合センター 坪田祐子)

「∞無限大」

空を見てると

その青さにみとれてしまう

限りなく広がる大草原は

大地の存在を教えてくれる

自然は色々なことを

教えてくれる

無限大の教科書だ

私達人間の中にも

秘めたる無限大の

可能性を持っている

それを引き出せるかどうかは

その人次第

by ヒソカ&セシル



会員の皆様の作品を
お待ちしております。

伝言板

第9回滋賀メンタル友の会総会のご案内

- ◎日時 平成15年4月23日(水) 13:30～16:00 ◎場所 滋賀県立精神保健総合センター 研修室
 ◎内容 13:00～13:30 受付・会費納入
 13:30～14:20 総会
 14:30～16:00 「作業療法士の働きについて」中田和範さんのお話
 ◎問合せ

「こころの会」例会のご案内

- ◎日時 平成15年5月11日(日) 13:30～15:30 ◎場所 県立男女共同参画センター 研修室B
 ◎内容 現在、悩んでいること、薬のこと、病気のこと等
 ◎問合せ 「こころの会」蒲生郡日野町木津192 TEL/FAX 0748-52-2918(この会は患者会です)

日本家族研究・家族療法学会 第20回大会

- ◎日時 平成15年5月22日(木)～24日(土)
 ◎場所 ピアザ淡海 県民交流センター(大津市におの浜1-1-20)
 ◎内容 22日(木) 13:15～ ワークショップ
 17:00～ ウェルカムセッション「近江出身の家族療法家にきく」
 23日(金) 13:15～ 特別講演「男女の現在・家族のゆくえ」
 14:30～ シンポジウム「家族・コミュニティー・エンパワメント」
 24日(土) 14:25～ 特別企画「症例を巡って議論×激論」
 ◎申込み 大会ホームページ <http://www.pac.ne.jp/JAFT20th> からどうぞ
 ◎事務局 湖南クリニック内(担当:湯沢) FAX 077-543-9095

サタデーピア総会 & シンポジウム ～この街で暮らしたい パート2～

- ◎日時 平成15年5月31日(土) 13:30～16:30 ◎場所 ひこね燦ばれす
 ◎テーマ よりよい暮らしのために私たちにできること
 ◎内容 13:30～14:00 総会
 14:30～16:30 シンポジウム
 ◎問合せ NPO法人サタデーピア 〒522-0043 彦根市小泉町596-1-202 TEL/FAX 0749-23-6679

第7回 滋賀県精神保健福祉協会 総会のご案内

- ◎日時 平成15年6月29日(日) 13:00～16:30 ◎場所 県立男女共同参画センター 視聴覚室
 ◎内容 総会、特別講演
 ◎問合せ 精神保健福祉協会 事務局 TEL・FAX 077-567-5250

滋賀県精神保健福祉協会 入会のご案内

協会は、障害のある人もない人も共に暮らしよい社会づくり、「こころ豊かな社会」の実現を目指し、会員の皆様とともに活動しています。趣旨に賛同いただける皆様の入会をお待ちしています。

事務局：〒525-0072 滋賀県草津市笠山8丁目4-25
 滋賀県立精神保健総合センター内
 TEL/FAX 077-567-5250

◎入会手続き

入会申込書に必要事項をご記入の上、協会事務局へお申込みください。会費納入につきましては、「会費振込用紙」を送付させていただきます。

◎会費(年額)

- ・一般会員〔この会の趣旨に賛同する個人または団体〕
 - (1) 個人 1,000円
 - (2) 団体 10,000円
- ・賛助会員〔この会の事業を賛助する個人または団体〕
 - (1) 個人 1,000円
 - (2) 団体 20,000円

編集後記

- ◆ 昨年からは協会だよりの編集委員として、紙面づくりに参加させてもらっています。会員のみなさんから寄せいただく作品はどれも力作ぞろい、編集作業も忘れて見入ってしまうこともしばしばです。みなさんのオリジナルティあふれる紙面参加を引き続きお待ちしております。
- ◆ 桜や入学式、新スタートの季節が近づいてきました。ここ数年この時期になると、くしゃみや鼻水、目のかゆみに悩まされます。いわゆる花粉症(アレルギー性鼻炎)ですが、去年まで受診を先延ばしにしてやり過ぎそうとしてつらい毎日を送っていました。今年は症状が強くなる前に専門医に相談し、薬の助けもあって軽い症状ですみそうです。こんなことならもっと早く相談に行けばよかったと実感しています。こころの病も1人だけで悩まず、まずは受診されてみたらいかがでしょうか。

(滋賀医科大学精神科 廣兼)

会員数 平成15年3月27日現在

一般会員	個人会員	339名
	団体会員	47団体
賛助会員	個人会員	21名
	団体会員	11団体

